

平成 29 年度 全国専務理事会資料（審判部）

- 説明内容 1. 審判ライセンス制度運用一部見直しについて（9月13日理事会承認事項）
 2. 2017FIBA 新ルール対応について（9月13日理事会承認事項）
 3. 2019 年度完全実施審判インストラクター制度（案）について（方向性・流れについて説明）
 4. 3PO（3人制審判）の推進及び全国大会派遣費について（依頼）

1. 審判ライセンス制度運用一部見直しについて

(1) 審判登録費の JBA : PBA 配分見直し（2018 年度から実施）

基本的考え方 JBA が担当する S・A 級の JBA 配分、PBA が担当する B・C・D・E 級の PBA 配分を多くする

【①2016/17年度審判登録料】				【②2018年度以降新審判登録料】			
	登録料	内訳			登録料	内訳	
	(単価)	JBA	都道府県協会		(単価)	JBA	都道府県協会
S級	30,000円	20,000円	10,000円	→	30,000円	25,000円	5,000円
A級	15,000円	10,000円	5,000円		15,000円	10,000円	5,000円
B級	8,000円	5,000円	3,000円		8,000円	4,000円	4,000円
C級	6,000円	3,000円	3,000円		6,000円	3,000円	3,000円
D級	4,000円	3,000円	1,000円		4,000円	2,000円	2,000円
E級	2,500円	2,000円	500円		2,500円	1,500円	1,000円

※都道府県協会組織基盤強化費財源200円分除く。 ※ツッペン配布は該当級の初回登録時のみとし、製作費はJBAが負担し、再発行は登録者の実費負担とする。

【③審判登録料比較（JBA : PBA）】				
	(A)旧登録料（2015）	(B)現登録料（2016年度末）	(C)現登録料（2017/0830）	(D)新登録料比較（2017/0830）
JBA	29,603,500	125,275,000	102,829,000	82,996,500
	比較増減	95,671,500	-22,446,000	-19,832,500
			2016年度末比較(D-B)	-42,278,500
PBA		64,915,000	58,299,500	78,132,000
	比較増減		-6,615,500	19,832,500
			2016年度末比較(D-B)	13,217,000

(2) E 級ライセンス永年制の見直し及び CDE 級更新年度の見直し（2018 年度から実施）

基本的考え方 ①E 級もルール変更への対応のため更新は必要 ②永年をアナウンスしたため配慮が必要
③C～E 級ライセンス取得者増加により都道府県審判委員会の負担軽減のため更新年度の見直し

【審判ライセンス登録及び更新年数】							
	登録	更新	新規・更新担当		登録	更新	新規・更新担当
S	1年	1年	JBA	→	1年	1年	JBA
A	1年	1年	JBA（ブロック）		1年	1年	JBA（ブロック）
B	1年	1年	都道府県		1年	1年	都道府県
C	1年	1年	都道府県		1年	2年	都道府県
D	1年	1年	都道府県		1年	2年	都道府県
E	永年		JBA(Eラーニング)		1年	2年	JBA(Eラーニング)

※2018 年度 E 級ライセンス取得者から 1 年登録・2 年更新の実施

※2016/17 年度に E 級ライセンス取得者は、2020 年度までを移行期とし、2021 年度から毎年登録とする。

※C～E 級の更新年度はルール改正がある奇数年度とする。